

浦和大学

総合福祉学部 ニュースレター

TOPICS

相談援助専門実習参加中の学生紹介（地域包括支援センター編）



小林祐美さん（総合福祉学部4年生）

＜埼玉県立富士見高等学校出身＞

大学では学びきれない実践現場でのソーシャルワーカーの役割を経験することが、とても勉強になり、何より実習がすごく楽しいです。対象とする地域によって、違いが大きく、社会福祉士の専門性をどのように発揮しているかという点に実習の醍醐味を感じます。



片桐優太（総合福祉学部4年生）

＜埼玉県立上尾南高等学校出身＞

今まで実習してきた高齢者関連の入所施設と異なり、地域の様々な高齢者の方と密接に関わることができ、毎日の実習がすごく新鮮です。毎日の実習をとおして、自分自身のスキルが向上しているのが実感できるので、実習にやりがいを感じます。

2015年6月から7月にかけて総合福祉学部4年生の4名が相談援助専門実習に取り組んでいます。本学部では、実践で活躍できる社会福祉士養成のため、2年次と3年次に相談援助の現場で実習を行っていますが、4年次では希望者を対象に、特定分野（病院と地域包括支援センター）での相談援助専門実習を行っています。

今回のニュースレターでは、地域包括支援センターでの実習に参加中2名の学生に専門実習について聞いてみました。

Topics

6月21日OCだより

特別企画「スポーツテンカを極めよう」

担当：片山先生より



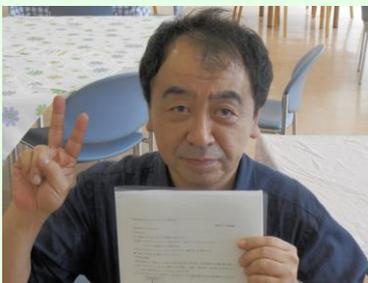
涼しい気温の中でしたが、皆さん熱中するあまり汗だくでスポーツテンカを楽しみました。

特別講師 小山先生



とても楽しかったです。高校生と大学生がスポーツテンカで楽しんでいる姿を見れて、本当によかったです。また、オープンキャンパスを手伝っている学生スタッフを積極的にがんばっている姿に感心しました。

模擬授業「終活について考える」 担当：矢野先生より



本日は、オープンキャンパスに来ていただきありがとうございました。「死」をテーマとした講義でしたが、要は「毎日をいかに自分らしく生きるか」ということがお伝えしたかったことです。また、お会いできることを楽しみにしています。

オープンキャンパスのスタッフ学生のコメントが近々オープンキャンパスに公開される予定です。是非チェックしてください！！

今後のオープンキャンパス情報

- 次回のオープンキャンパスは、7月11日(土)です。
模擬授業の内容などの最新情報を <http://www.urawa.ac.jp/> でチェックしよう！！